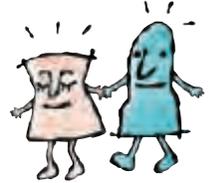


# THE ライフルスポーツ RIFLE SPORTS

2023

2  
第459号



- 2022年 WSPS 世界選手権・アルイン大会
- ISSF Grand Prix 2023 Ruse
- ISSF ワールドカップ ジャカルタ大会
- 2022年度 全日本クラブ対抗(300m)／クラブ対抗選抜／全日本小中大会
- 2023年度 事業計画



スポーツクリ

toto  
FOR ALL SPORTS OF JAPAN

BIG

# すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、  
日本のスポーツを育てるために  
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ



BIG

# ライフルスポーツ

## 巻頭言

監事 香西俊輔

1年間の延期等、何もかもが異例尽くしてあったTOKYO2020も遙か昔のことと思えるようになった。射撃競技会場もパラリンピック終了数か月後には元の姿に戻り、今では野の鳥も帰り来て何事も変らぬ如く時が流れているのではないだろうか。

COVID19が世界で猛威を振るう中、競技においても罹患して参加できなかった選手も出た。また、入国後についても競技会場におけるデルタ株流行国選手の移動動線の確保とファイナル待機時の隔離措置を求められ、症状の出たものに対応するため医療用陰圧テントも設置された。ダイバシティマネジメントの一環として男女共用のトイレの設置なども行われた。

NTOの平均年齢はおそらくオリンピック射撃史上最も若く、皆献身的で、経験のなかったパラリンピック射撃に対応する競技運営も高度なレベルで完遂し、2年にわたる予習時間でこなした内容が現場では見事に実現されていた。

パンデミックの影響で予定された半分の数になった競技ボランティアの人々も、ファイナル運営・セレモニー環境設営に関してなどは、何回か「彼らは軍人か？」と尋ねられるほどの正確で規律ある作業をし、「いいや、今日初めて行う作業だ」と答えるのだが、鼻先で笑われ全く信じてもらえなかった。心の中で日本人はこういう民族だとつぶやいたのだが、口には出さなかった。

すべての競技が終了した9月5日午後、虚脱の中で思考過程を経ることなく感じたことは“人の力のすごさ”である。同時に古い万葉歌の一節が思い起こされた。

國原波 煙立龍 海原波 加萬日立多都  
 怜憾國曾 蜻嶋 八間跡能國者  
 くにはらは けぶりたちたつ うなはら  
 は かもめたたちたつ うましくにそ  
 あきづしま やまとのくには



今月の表紙  
 ISSF ワールドカップ ジャカルタ ARGOで金メダルを獲得した岡田選手(後ろ中央)  
 前方左はISSF会長 ルチャアーノ・ロッシ氏、前方右はISSF業務執行理事 松丸喜一郎本会会長。

## 目次

2022年 WSPS 世界選手権・アルアイン大会	2
ISSF Grand Prix 2023 Ruse	6
WC ジャカルタ	12
2022年度第27回全日本ライフル射撃クラブ 対抗選手権大会(300mの部)、第41回全日本 ライフル射撃クラブ対抗選抜大会実施報告	16
3年ぶりのNTC イースト射撃場での小中学生 大会開催	20
2025年11月15日～26日 東京でデフリン ピック開催します	21
競技運営委員会より	22
公益社団法人 日本ライフル射撃協会 2023年度事業計画	23

# 2022年 WSPS 世界選手権・アルアイン大会

日本障害者スポーツ射撃連盟 猪坂 桂

2022年11月3日から18日までアラブ首長国連邦、アブダビ首長国の東端にある都市アルアインでパラ射撃の世界選手権が開催された。アルアインはオマーン国境に接するオアシスに造られた都市であり、市内は緑にあふれている。

気温は高いが湿度が低いため比較的過ごしやすい。射撃場内や選手控え室（屋外に設置された大型テント）はエアコンが効いていて快適で、時には寒すぎるぐらいである。

今大会の参加国は54ヶ国、参加選手数266人、延べスタート数は529人であり、日本からは選手4名、同行者2名、スタッフ2名、トレーナーの計9名で参加した。沖縄の仲本さんがピストルジュリーとして出役されていた。やはり、知っている日本人のジュリーがいるというのは何かと心強いし、安心感があるものだ。

アルアインの射撃場での WSPS 大会には何度か参加しているが、10m・50mの射座数はともに40射座しかなく、通常のワールドカップでも開催期間が長い。しかも、昨年まではファイナル射撃場がなく、本戦会場でファイナルが行なわれていたのでなおさらだ。今年は25m射撃場にファイナル射撃場が作られ、unofficial trainingの時間も増えた。しかし、世界選手権ということで種目数は全部で20（ショットガン3種目とVI＝視覚障害2種目を含む）と、やはり2週間という長期間にわたる長い遠征であった。選手の体力的・金銭的負担を考慮し、帰国は2便に分けたが、プログラム上、どうしてもフル参加しなければならない選手もあり、無理を言ってトレーナーに帯同してもらった。おかげで選手のコンディションも良い状態で試合に挑めたと思う。帯同して下さった北村トレーナーには感謝しかない。

私個人としては、2022年8月の韓国のワールドカップのように慌ただしい思いをすることもなく、1日1種目ずつ（PETだったり予選だったり）をこなしていく感じで、選手一人一人とゆっくり向き合う時間が多くとれたことはコーチという立場からすると（当たり前だが）良かったし、試合中も選手に集中することができた。また、海外遠征には付きもののいろいろなトラブルや事務手続きにも余裕を持って対応することができた。それでも、ドバイ空港で後半帰国組の射撃場から届くはずの銃がなかなか届かず、搭乗手続きギリギリになりゲートまでダッシュしたことは、今となっては笑い話？である。…ちなみに、私は参加したアルアインでの3大会のうち、今回含めて2回、帰国の際の空港でのダッシュを経験している（笑）

肝心の試合結果は、目標としていた2024年パリパラリンピックの出場枠を獲得することはできなかった。しかし、今回の遠征で得たものは選手一人一人にとっても、強化スタッフにとっても非常に大きかった。

私自身も海外のコーチと積極的に情報交換、リモートマッチや合宿の打ち合わせ、ワルサーのメカニックと銃の相談ができたりと大変、有意義な時間を過ごすことができた。コーチとして選手が抱える課題を解決する手伝いをし、またしっかりと情報分析し今後の活動に活かし、次こそは目標達成を必ずや成し遂げたいと思う。

最後に、日頃から当連盟の活動にご理解、ご協力を頂いている皆様に改めてお礼を申し上げます。



シャトルバスに乗り込む様子



射撃場外観



Technical Meetingの様子

## 日本障害者スポーツ射撃連盟トレーナー 北村 綱為 (きたむら つねゆき)

今回、11月2日に関西国際空港を出航し、アラブ首長国連邦（以下、UAE）のアルアインで行われた WSPS 世界選手権へ、トレーナーとして選手団に帯同させていただいた。

今大会帯同におけるコンディショニングの大きな課題としては2点。

まず1点目に暑熱対策が上げられた。UAEは亜熱帯性乾燥地帯に属し、一年は4～11月の夏季と11月～3月の冬季とに大別されるようである。真夏の最高気温は47℃を超え、湿度も80%以上ということで、対策としてドライ素材の衣類や体温調節のための手掌冷却の備品などを準備した。しかし、実際の現地アルアインでは、日中の最高気温こそ30℃前後まで上昇するものの、湿度がとても低く、体感的には比較的過ごしやすく過度な暑熱対策はほぼ必要とすることなく過ごすことができた。むしろ日々のホテルから射撃場までの車内では、空調が過度に効いており、車内では上着を羽織ることもあるほどであった。現地の方によれば、この空調がおもてなしの一つとすることもできるようだ。

次に2点目は、長期日程で行われる世界選手権でのコンディショニング維持であった。感染症対策もあり、ほぼ射撃場とホテルの往復だけで過ごす日々。また競技場で練習をする日数もかなり限られており、選手にはホテルでのストレッチングや体幹などのコンディショニングエクササイズを行ってもらった。トレーナー介入によるパートナーストレッチング等を日々行った結果、大会期間中に可動域が大幅に改善し、競技時の腰痛などの訴えもなくコンディショニングは非常に良い状態で試合に臨むことができた選手もいたが、結果として成績に繋がらなかったことが今後の課題ではと考える。

最後に感染症対策として、マスクの着用やアルコール消毒を欠かさず行なっていたが、世界各国から集まった大会関係者のうち、日本や韓国、タイ等、アジア系の選手団は競技外でのマスクが徹底していたのに対し、その他の国々では既にノーマスクが日常になっている事がとても印象的であった。



トレーナーのケアを受ける選手

## 選手コメント

### 渡邊裕介

今大会はパリパラリンピック出場枠が付与されるとともに、ワールドカップを勝ち抜いたトップ選手が参戦し、今後のレベル指標となる大切な大会でした。個人的には根拠なき変革を行って迷走状態から抜け出しつつある中、不安を抱えながら初日にエアライフルの試合を迎え結果は散々ではありましたが、試合中の自己コントロールが出来た事は自信につながりました。また、10日後にライフル種目の予選があり小さなトラブルが有りながらも本戦に進み、結果は決して良いものではありませんでしたが、その中でも自信をもって挑むことが出来たのが大きな収穫でした。現在の実力と課題を確認できたのでこれからのステップアップに繋げていきます。

### 望月貴裕

R1は実射練習の機会が用具検査日とPETの2回でしたので、より良いイメージをもって試合に臨むため、ひたすら据銃、空撃ちを行っていました。

結果としてはあまりにもな点数でしたが、次回の試合に向けトリガリングに課題があると認識ができたため、今後はアジアパラ出場に向けて練習を続けていきたいと思います。



控えテントでの Dry Firing

### 水田光夏

2024年パリパラリンピックのDS獲得を目指して臨んだ世界選手権でしたが、序盤から自分のペースを掴むことができず点数を伸ばすことが出来ませんでした。試合当日までのコンディション調整等が甘かったと感じています。また、私自身が射撃をする時に大切にしている“しっくりくる”という感覚を今大会では疎かにしてしまったので、今後は自分の感覚を大事に練習も試合も丁寧な射撃を心掛けていきたいと思っています。

### 木下裕季子

私のアルアイン（海外遠征）での目標は、自己記録更新。私は頸髄損傷により下肢全廃と上肢も著しい機能障害で感覚や握力はなく、座位の保持も難しく、長距離の移動、気温変化、食事や日常生活のサポートが重要となる。

また、日本では難しい競技に関するサポートを海外遠征では受けることができるが、簡単なことではない。今回は、自己新は叶わなかったが、MQS取得は、すべてを支えてくれた帯同者の竹谷さんに感謝する。

最後にご尽力いただきました皆様にご場をお借りして御礼申し上げます。



10m 競技風景



SH2競技風景



50m 競技風景



ワルサーのメカニックによるメンテナンス



オープニングセレモニー



Unofficial Training 10m

# ISSF Grand Prix 2023 Ruse

オリンピックポイント獲得を視野に入れての派遣として、ライフル選手2名、ピストル選手3名の大会出場となった。

今回出場したのは、スロベニア共和国のRuse（ルシェ）という町で開催された「ISSF Grand Prix 2023 Ruse」であり、参加国数29ヶ国200名の選手が出場するやや小規模な大会であった。

射撃場は地元学校の体育館に標的を設置した簡易射撃場となっており、出入り口を入り左に20的、右に20的と背面になるように40射座のこぢんまりとした会場で、ファイナルホールも歩いて行くにはしんどい、離れた場所にあった。

また今回は、チーム戦には出場せず、個人と Mix のみ2日間の試合日程であったが、ヨーロッパ選手が多く参加しており、ローカルながら程よい緊張感の中、試合に臨むことができた。



壁にはボルタリング

## 【1日目】

### AR Mix

最初の種目、10m Air Rifle Mixed Team でいきなりの銅メダル！！

出場したのは、平田しおり選手（ALSOK）、岡田直也選手（ALSOK）ペアで、ゴールドマッチにあと0.4点届かず本選4位でブロンズマッチに進んだ。

ブロンズマッチでは、スタートから連続6ポイントを先取して、上々の滑り出しであったが強豪イスラエルペアが高得点を連発し、追い付かれてしまった。

すかさずウーヨンコーチがタイムアウトを要求し、選手たちへアドバイスをし、落ち着きを取り戻した2人は本来の射撃を取り戻し、ポイントを取っては返されのシーソーゲームながら、13対13から勝負どころのラストに高い集中力を発揮して、17対13で勝ち切って銅メダル獲得。



銅メダル獲得の平田選手と岡田選手



タイムアウトでウーヨンコーチ登場

## AP60W

続いての試合は、10m Air Pistol Woman。

ここでは、相澤ひかる選手（警視庁）が580点日本新記録の2位で決勝進出。

山田聡子選手（自衛隊体育学校）も5シリーズ目に99点の高得点をマークし、5位で決勝進出を決めた。

決勝では、2人とも波に乗り切れず5位、6位と順位を上げることはできなかったが、女子選手が60発競技になってから、初の580点を超えて、これからの女子ピストルに明るい兆しが見えたことは言うまでもない。



日本記録を樹立し、5位入賞の相澤選手



6位入賞の山田選手

## AP60M

1日目ラストの10m Air Pistol Man に出場したのは、岩佐正貴選手（自衛隊体育学校）。

岩佐選手は若干20歳ながらも、今の精密男子を引っ張る中心選手であり、決勝にあと3点足りず惜しい結果ではあったが、試合後にはエミールコーチから細かい指導を受け、今後の成長に大いに期待したい。

## 【2日目】

### AP Mix

10m Air Pistol Mixed Team は個人に出場した相澤選手と岩佐選手のペアであったが、決勝には進むことはできなかった。



向かい合わせで撃つ相澤選手と岩佐選手

### AR60W

ここでも最高の射撃を見せてくれたのは、10m Air Rifle Women の平田選手であった。

ミックスでの反省検証を活かし、平常心をしっかりとキープし、630点の大台にあと0.2点足りなかったものの堂々の4位通過で決勝へ。

決勝ではミスショットはあったものの、ファイナルという緊張感の中、冷静に対応し今大会2個目となる銅メダルを獲得した。

平田選手は、「とても嬉しいです。この経験を次に繋げたい。」と更なる目標に向かって自信を手にしたのではないのでしょうか。



ファイアリングポイントCで撃つ平田選手



ウーヨンコーチにメダルを掛けてハイチーズ

## AR60M

ミックスに続いて、平田選手同様に決勝進出を目指す10m Air Rifle Menの岡田選手でしたが、世界との壁は厚く決勝に進むことは出来なかったが、Mixでの経験で自信をつけ、今後の活躍に期待したい。

今回の遠征を通じて、小さめの試合であったが、この経験と結果が次の大きな試合での自信になるであろう。選手たちは、帰国後にはすぐW杯ジャカルタ大会と本格的に2023年がスタートするが、パリオリンピックに向け、よいスタートが切れたのではないだろうか。

最後に、今回の大会に際し、応援をしてくださった皆様には派遣メンバーを代表して、厚く感謝申し上げます。

これからのチーム JAPAN も引き続き応援よろしくお願ひします。

ピストル部会長 松田 知幸



集合写真

# Jakarta

## WC ジャカルタ



前半参加者



後半参加者

2023年1月27日～2月5日の期間で、インドネシア共和国 ジャカルタにて本年最初のワールドカップが開催されました。日本からは19人の選手が派遣されました。

インドネシアは最高気温が30℃以上で蒸し暑く、真冬の日本からでは非常に大きな気温差となりました。気温が高いことでの影響は選手だけではなく、銃器にも大きな影響を与えます。オイルが気温に対応できずトリガー不調を起こしたりします。25m・50m種目は十分な調整が必要となりました。

ジャカルタ射撃場は25mと50mが背面で設置されており、2階に10m射撃場がありません。規模は10m60的、25m40的、50m60的とワールドカップ開催会場としては小規模な射撃場となります。

32か国 212名の参加者で開催されました。

今大会では、すでにホームページ等で報告の通り、岡田直也選手（ALSOK）がエアライフル男子で金メダルを獲得しました。

予選を629.4点で1位通過、ファイナルランキングマッチを261.6点で1位通過、カザフスタン MALINOVSKIY 選手とのゴールドメダルマッチを16対14のフルカウントでの勝利となりました。2023年最初のワールドカップの最初のファイナルでの勝利は非常にインパクトのあるものでした。ISSF 新会長のルチアーノ・ロッシ氏、ISSF 業務執行理事となった松丸会長の観戦される前でのファイナルでしたので、日本選手の活躍がロッシ会長にも伝わったと思います。

また、今大会はオリンピック種目個人8種目の内7種目で日本人ファイナリストが誕生しました。全選手がワールドカップのファイナルを通じて良い経験を積みましたし、ファイナルが身近になり、ファイナル出場は当たり前でその先を目指していく気持ちが一層強くなりました。

今回は、3名のナショナルコーチのコメントを掲載したいと思います。

### エミールコーチ

この大会に参加するための事前練習において様々な技術や習慣を訓練しました。

さまざまな技術や習慣を身につけ、良いコンディションで競技に臨み、良い成績を残すことができました。トレーニングで身につけたスキルは、競技においても有益な効果を発揮しました。

個人およびチームとしての設定された目標や課題は、この試合において実行できました。

それは、普段通りのルーティーンを行うこと、射撃におけるリズムの時間の均一化と精度を求めること。

また、ファイナルに参加することは、別のルーティーンと精神的なタフネスが必要である。

ファイナルに参加した4人は、ファイナルで経験と技術習得をするまたとない機会を得た。

ファイナルでの心理的・精神的ストレスや経験は、今後の彼らの成長に寄与することでしょう。

今回の参加と成績は、次の国際大会での自尊心と自信につながるでしょう。

チームのパフォーマンスに対する私の評価は非常に高く、将来の成功への良い刺激と自信になりました。将来の成功のためのモチベーションになります。

### ゴランコーチ

カイロでの世界選手権の結果があまり良くなかった為、12月に非常に良いキャンプを行い、1月も引き続き準備期間としました。両キャンプに参加した選手たちは、ジャカルタでのワールドカップに向けて、とても良い準備ができたと思います。

ジャカルタの結果は、部分的には満足していると言えるでしょう。風、暑さ、湿度といった悪天候が、結果を出せなかったことに大きく影響しているのは確かです。厳しい気象条件の中で撮影するための知識や経験が、選手たちにはまだ十分でないことが改めて示されました。それが、これからの大きな目標です。

平田しおり選手は、50m で再び最高の本選での結果となりました。彼女は目標を達成し、決勝に進むことができました。しかし、立射で苦しみ、8位という結果に終わった。決勝に進み、経験を積むことで、より良い順位になるはずです。

堀之内愛選手と大塩勇斗選手は、我々の未来です。彼らの射撃には満足している。二人とも膝射のスタートがうまく、トップ・コンペティターになる素質があることを示している。今後、大きな大会での経験を積み、永続的な練習を積めば、比較的早く、練習の成果を発揮することができるだろう。



25m RFP 5位 吉岡大選手



25m ピストル女子 8位 財津美加選手



50m 三姿勢女子 8位 平田しおり選手



AP60 8位 森川清司選手



山下敏和選手



AR60W 4位 野畑美咲選手



AP60W 6位 相澤ひかる選手

### ウーヨンコーチ

暑いところでの試合は常に射撃ジャケットの管理が必要です。

出発前の練習でもっと難しい環境を作らなければならない、試合と試合の間に十分な休息が取れるようにしなければならないだろう。

今回は時差が大きなくて良かった。時差が大きいところでの試合は十分な練習と適応が必要だろう。

昨年2月のワールドカップカイロより海外遠征を再スタートし1年が経ちました。

選手はチームジャパンとして着実に成長しております。今後も応援よろしくお願ひ致します。

選手強化委員長 佐橋朋木

## 2022年度第27回全日本ライフル射撃クラブ対抗選手権大会(300mの部)実施報告

2022年10月15日～16日、埼玉県長瀨射撃場において、第27回全日本ライフル射撃クラブ対抗選手権大会(300mの部)が開催されました。三姿勢、60PRによる総合団体は、神奈川シューティングクラブでした。以下、高橋代表の優勝についてのコメントをご紹介します。



### 神奈川シューティングクラブ 代表 高橋 義宏

今回、大口径の部で初の総合団体優勝を飾ることができ大変嬉しく思います。年々参加クラブの減少や、高齢化による参加者減などにより対戦相手が少ない状況ではありますが、その中で若手の嘉山選手が実力を発揮し、優勝に貢献してくれたことは意義のあることです。

今後も若手を増やせるようにクラブで活動していきたいと思います。

SBとLBのストックの共通化をして今後日本新を叩き出して欲しい嘉山選手にコメントをもらいました。

### 嘉山選手コメント：

大口径は撃発時の反動がSBの比にならないほど大きいですが、長くフォロースルーを取ることで銃口は狙った位置に戻り、予測通りの位置に着弾します。それがSで上手いき、10Xを連続で撃っているときは、本当に良い撃ち方をしているなど実感します。

次は団体及び個人日本記録更新を目標に頑張ります。

競技運営に携わった役員（特に澤戸さん、大口径所持しクラブ戦参加を待っています）の方々ありがとうございました。

## 2022年度第41回全日本ライフル射撃クラブ対抗選抜大会実施報告

2022年11月25日～27日にかけて、第41回全日本ライフル射撃クラブ対抗選抜大会が静岡県藤枝市瀬戸谷屋内競技場（スポーツ・パル高根の郷）において、この時期としては比較的暖かい気温の中で実施されました。すべての競技が終了した結果、総合団体優勝をしたのはunicorn（40ポイント）でした。unicornの優勝は2020年の選手権大会以来、クラ

ブ対抗戦としては2度目となります。今回 unicorn は種目別団体のエアライフル60発男子・女子、男子スモールボア3姿勢の3つで優勝をしています。

2位は神奈川シューティングクラブ (36ポイント)、クラブ対抗戦優勝の常連であり、今回も全種目で強さを発揮しました。3位は女子50m 種目の両方で優勝をした、ほにゃらら (33ポイント) です。

今回大会の最後となった女子スモールボア3姿勢のファイナルにおける平田しおり選手 (unicorn) の成績463.8点は、日本新記録として申請します。



以下、「unicorn」代表の山本拓生選手と日本新記録申請中の平田しおり選手のコメントをご紹介します。

#### 総合団体優勝チーム「unicorn」代表山本拓生選手のコメント



unicorn 池邊龍平選手、遠藤雅也選手、中村優汰選手

はじめに、unicorn が総合団体優勝できたこと、とても光栄に思います。ほとんどのメンバーが団体メンバーとして活躍してくれました。チーム一丸となって勝ち取った優勝だと感じています。

さて、今大会では AR60、AR60W、FR3×20の3種目の団体優勝や、平田選手（AR60W、R3×20）、遠藤選手（AR60）の個人優勝など多くの種目で入賞することができました。

特に最終日に行われました AR60では、本チームから中村選手、遠藤選手、池邊選手が final に出場し、1. 2. 3フィニッシュを決めてくれました。

では、恒例の(?) 今大会一押しのメンバーは、中村選手です。unicorn 最年長の我らがまとめ役です。大会直前は、AR が不調だと話していたがしっかり final に出場し3位に入賞しました。代表(同期)として非常に嬉しく思います。次回のクラブ対抗戦でも AR 団体メンバーを務めていただきます。頑張ってください。

来年度の目標ですが、団体記録日本新記録樹立を目指しみんなで楽しく射撃をしていきます。

最後に、今大会の開催にあたりご尽力された全国クラブ対抗戦実行委員会をはじめ多くの関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

### 平田しおり選手のコメント



射撃中の平田しおり選手

2種目優勝出来たこと、素直にとっても嬉しいです。

AR は今年度 Final のある大会は全て優勝してきているという事もあり、とても緊張感がありました。ただ、同時に自信も付いてきたので、自分の中ではとても良い状態で試合に臨むことができました。

SB は今年度あまり納得の行く成績を残すことが出来ませんでした。その為、最後は満足のできる結果をとという意気込みで臨みました。Final では日本新記録を残すことができ、とても嬉しく思います。

どちらも納得のできる点数では無く、課題点もまた見つかったので、更に精進していきたいと思います。

最後に、運営の皆様をはじめ役員の方々の支えがあり大会が開催できました。ありがとうございました。

## その他の各種目

女子 AR60では平田しおり選手（unicorn）が優勝、2位は一ノ渡桜選手（神奈川シューティングクラブ）、3位は渡部奏乃音選手（学連大学）。男子3姿勢は信田健介選手（Back Fire）が優勝、2位は岡田直也選手（神奈川シューティングクラブ）、3位は山本拓生選手（unicorn）となりました。

女子 R60PR では、団体優勝が藤田志穂選手、吉本衣江選手、劉炫慈の（ほにゃらら）が優勝をし、個人では藤田志穂選手が優勝。男子 FR60PR では垣見昌男選手、町田健太郎選手、荒本俊明選手（大阪 EXSP）が団体優勝。個人では正満孝太選手（流星）が優勝をしました。

FR60PR では同時に R6が実施され、岡田和也選手（ほにゃらら）が優勝をしました。

初日には ARMIX があり、（いつものように）神奈川シューティングクラブの一ノ渡桜選手・岡田直也選手チームが優勝をしました。

## 謝辞

新型コロナウイルスが完全に収束してない中での開催でした。しかし、過去の我々が記憶するクラブ対抗戦が徐々に戻ってきています。今回も参加選手、役員、応援・見学される皆様に毎日の体温チェックや体調の確認等の徹底をお願いしました。新型コロナウイルス感染防止対策として細かい部分までご協力をいただき、ありがとうございました。

そして、多くのクラブチームの参加と企業様のサポートがありクラブ対抗戦が盛大に開催できましたことをお礼申し上げます。

株式会社銀座銃砲店、シースジャパン NSK、七福、株式会社タイチタニフジ、のんの珈琲、株式会社ブリッジス、ホテルナンバン焼津、ライフルショップエニス（五十音順、敬称略）

## 参加クラブチーム（31クラブチーム）

赤門射撃会、アフターファイブ、AVENGERS、チーム SOS、NRT、大阪 EXSP、おお明治、オール日大、学連大学、神奈川シューティングクラブ、TEAM KABASHIMAMA、京都ポイント、株式会社銀座銃砲店、KU SHOOTING、栄北三銃士、ジェネシスライフクラブ、ジェネシス・ワダ、次郎長、スターチス、チューブ学連下山ラリー部、drippers、Back Fire、チーム FUJIHIRA、ブルズアイライフクラブ、フログ、BEC、ホクリクテオー、ほにゃらら、ホーネット、unicorn、流星（五十音順）

全国クラブ対抗戦実行委員会

## 3年ぶりのNTC イースト射撃場での小中学生大会開催

2022年12月17日（土）～18日（日）NTC屋内トレーニングセンター・イースト射撃場に於いて、埼玉県ライフル射撃協会の皆様の全面的なご協力の下、育成アスリート選考記録会（ユースカテゴリー）を兼ねて、第8回 全日本小中学生ライフル射撃競技選手権大会（AR/AP）・第9回全日本小中学生ライフル射撃競技選手権大会（BR/BP）を実施しました。北は秋田県から南は沖縄県からの選手が延べ130名を超えて出場し、各加盟団体の指導者、保護者の皆様が見守る中、其々の種目において自己ベストに挑戦し、互いに実力を競い合う素晴らしい試合が繰り広げられました。今後も選手の皆さんが目指すためのフラッグシップとなるこの全国大会を継続することで、発掘育成の成功へ導くことができるように、推進して参りますので、何卒ご協力賜りますよう、何卒宜しく申し上げます。

選手強化委員会 成山悟史



10mエアライフル中学生女子の部  
優勝 石田紬葵 2位 藤井愛子 3位 富永日菜子



エアライフル 中学生女子 ファイナル



ビームライフル 自由姿勢 試合



ビームピストル 試合



ビームライフル 試合



エアピストル ファイナル  
山田聡子選手が人数調整のため飛び入り参加



## 2025年11月15日～26日 東京でデフリンピック開催します

### デフリンピック (Deaflympics) とは？

国際ろう者スポーツ委員会が主催するきこえない選手のための国際的なスポーツ大会です。

「Deaf (デフ)」は英語できこえない人という意味です。オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互に開催されます。21競技種目があり、その競技ルールはオリンピックと同じルールですが、きこえない選手のための視覚的保障がなされた競技環境があることがデフリンピックの特徴です。なお、デフリンピックには射撃（ライフル、ピストル、エアライフル、エアピストル）競技もあります。

### どのような人が出場できるの？

裸耳状態（補聴器をかけない）での聴力損失が55デシベル以上で、定められた出場条件を満たした選手が出場資格を有します。

### デフリンピックの認知度は？

2014年に日本財団パラリンピック研究会が行った調査結果では、国内でのデフリンピックの認知度は11.2%です。パラリンピックの認知度98.2%と比べるとまだまだ低いのが現状です。

なお、パラリンピックは視覚障害、脳性麻痺、運動機能障害、切断、知的障害等の障害のある方、デフリンピックはきこえない人と、それぞれ出場資格が違います。

### お願い

現在、国内にはデフスポーツ団体が26団体ありますが、デフ射撃協会についてはデフ射撃選手は数名しかおらず、立ち上げられない状態が続いていました。そこで、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会のご協力をいただき、2023年度より日本ろう者射撃協会の組織を立ち上げることになりました。また、日本ライフル射撃協会をはじめ、日本障害者スポーツ射撃連盟の方々のご協力をいただき、選手発掘のためのアンケート調査をお願いしております。全国のろう学校などの教育機関や聴覚障害当事者団体の中からも、一人でも多くの選手を発掘していけたらと考えております。

皆様のお知り合いの方や身近な方できこえない・きこえにくいの方がおられましたら、是非教えてあげてください。ご興味がある方がおりましたら、ご一報いただくと大変ありがたいです。



<https://www.jfd.or.jp/sc/>

一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会

日本ろう者ライフル射撃協会 事務局 桂 玲子  
連絡先 携帯電話番号 090-3139-3620  
Mailaddress moot-0505@docomo.ne.jp

## 競技運営委員会より

2023年2月19日（日）オンラインにて審判講習会を実施しました。  
審判講習会の内容は、日ラホームページにてご確認ください。

2023年適用 新ルール適用については、ISSF からの発信が3月となったため、  
4月以降にルール講習会（オンライン）を実施します。

### 主な変更点

#### ①ARバットプレートのルールの考え方

- ・ 定義と可動範囲が明確になりました
- ・ バットプレートは、
  - ・ 上下、左右オフセット (図1)、縦軸 (図2) 横軸 (図3) へ回転できる
  - ・ 各部品を左右に回転できる (図4)
  - ・ 外縁のどの部分も中心線から**30mm**以上出てはならない (図4)
  - ・ 全体の幅は**30mm**以内に収める (図5)
  - ・ 肩に接する最下点まで**20mm**以内の深さ

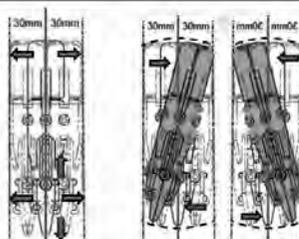


図1：上下、左右への移動

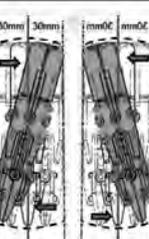


図2：縦軸の回転



図3：横軸の回転

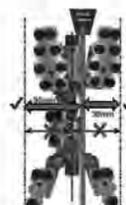


図4：左右の回転



図5：全体の大きさテンプレート

#### ②ATLの時間

- ・ ATLは本射開始の**25分前**（10m,50m個人種目）
- ・ 準備時間は**10分間**
- ・ 試射時間は**15分間**のまま

# 2023年度事業計画

(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 活動方針

本会はライフル射撃界を統括し、スポーツ基本法の理念に則り、ライフル射撃スポーツの普及と振興を図り人々の心身の健康に寄与することを使命とする。

使命を果たすため、将来構想を策定し三つの役割を明確化した。第一にアスリートの育成として、ライフルスポーツを通して人間力のある若者を育成するとともに競技力の向上に努める。第二に競技の普及として、アスリートの活躍やライフルスポーツの魅力を発信して競技の普及を図る。第三に社会貢献として、ライフルスポーツを通して社会課題の解決に貢献する。将来構想に基づき、この三つの役割を強力に推進する。

## 2. 事業（定款第4条第1項～6項）

### 1 ライフル射撃スポーツの普及及び指導

- ・広報事業を軸に、共生スポーツであることを積極的に発信する。
- ・協会主催（新宿区後援予定）の体験射撃会を定期開催する。
- ・戦略に基づく JRSF 認定コーチによるジュニアの発掘育成事業を実施する。

### 2 ライフル射撃スポーツの日本選手権大会及びその他の競技会の開催

- ・国民体育大会の運営、全日本選手権大会を主催し、各種競技会を後援、公認する。
- ・全日本 AR/AP、全日本 BR/BP は SH1 のパラアスリートも参加、オリパラミックス種目を開催し、総合順位を参考として公表する。
- ・東アジアユースエアガン大会を主催する。

### 3 ライフル射撃スポーツに関する競技力の向上を図ること

- ・地域の指導者や強化スタッフとナショナルコーチ間の連携を強化する。
- ・ジュニアからシニアまでの一貫強化戦略を構築する。
- ・オリンピック、パラリンピック出場枠を獲得するため、遠征と合宿を実施する。

### 4 ライフル射撃スポーツに関する指導者及び審判員の養成及び資格認定

- ・JSPO 公認コーチ、JRSF 認定コーチの認定と育成のため、研修を実施する。
- ・公認審判の認定と育成のため、研修を実施する。
- ・国際大会への出役による国際審判の育成を実施する。

### 5 ライフル射撃スポーツの普及・発展に資するための補完事業として事業運営上必要な物品の頒布

### 6 その他目的を達成するために必要な事業

多くの人々や、企業、団体から存在意義を認められ、支援や協力を得られるスポーツになる。自ら収入を得ることができる独自財源を確立し、経済的に自立するため、以下の活動を行う。

- ・ライフルスポーツ応援ふるさと納税寄付として、新宿区へのふるさと納税を推進する。
- ・スポンサーの獲得活動を推進する。
- ・マーケティングプロジェクトとして eSports とデジタル射撃プロジェクトの開発を継続する。

## 2023年度 主催競技会計画

主 催 競 技 会								
自	至	No.	格付	事 業 名	主管	都道府県	市町村	
5月13日(土)	5月14日(日)	1	G1	第49回全日本ライフル射撃競技選手権大会(300m)	千葉県ラ	埼玉県	長瀨町	
5月19日(金)	5月21日(日)	2	G1	全日本ライフル射撃競技選手権大会(10m) 全日本選抜ライフル射撃競技大会(50m ライフル) 男女混合オリパラ共生大会 兼 強化選手選考会	JRSF/ 栃木県ラ	栃木県	宇都宮市	
6月16日(金)	6月18日(日)	3	G2	第27回日本学生選抜スポーツ射撃競技大会	SRAJ	愛知県	豊田市	
6月16日(金)	6月18日(日)	4	G2	第53回 東日本ライフル射撃競技選手権大会	宮城県ラ	宮城県	石巻市	
6月23日(金)	6月25日(日)	5	G2	第53回 西日本ライフル射撃競技選手権大会	近畿ブロック	大阪府	能勢町	
7月15日(土)	7月17日(月)	6	G1	全日本ライフル射撃競技選手権大会(BR/BP)共生大会	JRSF/ 宮城県ラ	宮城県	石巻市	
7月25日(火)	7月26日(水)	7	G2	第1回 全日本高等学校ライフル射撃選手権大会(AP・BP)	広島県ラ	広島県	安芸太田市	
7月28日(金)	7月30日(日)	8	G2	第60回 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会	全国高校 ライフル射撃部	広島県	安芸太田市	
8月25日(金)	8月26日(土)	9	G2	第8回全日本小中学生ライフル射撃選手権大会(ARAP)	JRSF	東京都	北区	
8月25日(金)	8月27日(日)	10	G2	第8回全日本小中学生ライフル射撃選手権大会(BRBP) 兼 TOKYO2020メモリアルCUP	JRSF/ 埼玉県ラ	埼玉県	朝霞市	
9月8日(金)	9月10日(日)	11	G2	JOC ジュニアオリンピックカップ 兼 第33回 ISSF ジュニアライフル射撃競技選手権大会	埼玉県ラ	埼玉県	長瀨町	
9月9日(土)	9月10日(日)	12	G2	全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会 兼 第79回 国スポライフル射撃(25m)競技リハーサル大会	佐賀県ラ	佐賀県	佐賀市	
10月8日(日)	10月11日(水)	13	G1	特別国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島市 始良市	
10月19日(木)	10月22日(日)	14	G2	全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第70回男子総合 / 第36回女子総合	SRAJ	栃木県	宇都宮市	
10月20日(金)	10月22日(日)	15	G1	全日本ライフル射撃競技選手権大会(センターファイアピストル) 兼 第79回 国スポライフル射撃競技リハーサル大会	広島県ラ	広島県	安芸太田町	
10月27日(金)	10月29日(日)	16	G2	全日本社会人ライフル射撃競技選手権大会	佐賀県ラ	大分県	由布市	
11月3日(金)	11月5日(日)	17	G1	全日本ライフル射撃選手権大会(50m ライフル) 全日本選抜ライフル射撃競技大会(10mAR/AP) 男女混合オリパラ共生大会	近畿ブロック	大阪府	能勢町	
11月17日(金)	11月19日(日)	18	G1	全日本ライフル射撃競技選手権大会(25m ピストル) 兼 強化選手選考会	JRSF	東京都	北区	
11月17日(金)	11月19日(日)	19	G2	第36回 全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会	日障連	調整中		
11月25日(土)	11月26日(日)	20	G1	全日本ライフル射撃競技選手権大会(50m ピストル)	埼玉県ラ	埼玉県	長瀨町	
11月25日(土)	11月26日(日)	21	G2	第46回 全日本前装銃射撃競技選手権大会	千葉県ラ	千葉県	千葉市	
2月10日(土)	2月11日(日)	22	G1	第6回 全日本ミックスチーム射撃競技選手権大会(AR・AP)	JRSF/ 茨城県ラ	茨城県	真壁町	
3月22日(金)	3月24日(日)	23	G2	第43回 全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会	全国高校 ライフル射撃部	広島県	安芸太田町	

会議関係	
開催日	会議名
4月27日(木)	推薦委員会
5月17日(水)	①常務理事会
5月25日(木)	推薦委員会
5月27日(土)	第一回理事会
6月17日(土)	定期総会
6月28日(水)	②常務理事会
6月29日(木)	推薦委員会
7月8日(土)	第二回理事会
7月27日(木)	推薦委員会
8月31日(木)	推薦委員会
9月20日(水)	③常務理事会
9月28日(木)	推薦委員会
9月30日(土)	第三回理事会
10月26日(木)	推薦委員会
11月22日(水)	④常務理事会
11月30日(木)	推薦委員会
12月2日(土)	第四回理事会
12月21日(木)	推薦委員会
1月25日(木)	推薦委員会
2月7日(火)	⑤常務理事会
2月17日(土)	第五回理事会
2月18日(日)	審判講習会
2月29日(木)	推薦委員会

関連行事関係				
自	至	事業名	国	都市
4月11日(火)	4月23日(日)	ISSF ワールドカップ	バレー	リマ
5月4日(木)	5月15日(月)	ISSF ワールドカップ	アゼルバイジャン	バクー
6月1日(木)	6月12日(月)	ISSF ジュニアワールドカップ	ドイツ	ズール
7月14日(金)	7月28日(金)	ISSF ジュニア世界選手権	韓国	チャンウォン
7月28日(金)	8月3日(木)	FISU ワールドユニバーシティゲームズ	中国	成都
8月14日(月)	9月3日(日)	ISSF 世界選手権	アゼルバイジャン	バクー
8月19日(土)	8月20日(日)	特別国体東海ブロック 兼 東海選手権大会	三重県	津市
8月19日(土)	8月20日(日)	特別国体近畿ブロック	大阪府	能勢町
8月19日(土)	8月20日(日)	特別国体中国ブロック	広島県	安芸太田町
8月19日(土)	8月20日(日)	特別国体四国ブロック 兼 四国選手権大会	高知県	高知市
8月19日(土)	8月20日(日)	特別国体九州ブロック 兼 九州選手権大会	熊本県	益城町
8月19日(土)	8月20日(日)	特別国体東北・北海道ブロック 兼 第50回東北総合体育大会	岩手県	八幡平市
8月19日(土)	8月20日(日)	特別国体関東ブロック 兼 全関東選手権大会	埼玉県	長瀨町
8月26日(土)	8月27日(日)	第44回北信越国民大会 (特別国体北信越ブロック)	新潟県	胎内市
9月8日(金)	9月19日(火)	ISSF ワールドカップ	ブラジル	リオデジャネイロ
9月17日(日)	9月29日(金)	WSPS 世界選手権	バレー	リマ
9月23日(土)	10月8日(日)	第19回アジア競技大会	中国	杭州
10月22日(日)	10月28日(土)	第4回アジアパラ競技大会	中国	杭州
10月22日(日)	11月2日(木)	アジア選手権	韓国	チャンウォン
12月12日(火)	12月15日(金)	東アジアユースエアガン大会	調整中	



## ライフルスポーツへの 記録掲載終了のお知らせ



いつもライフルスポーツをご購読頂きありがとうございます。

グレードG2以上の協会主催大会成績を掲載しておりました記録集は、2022年5月号をもって終了させて頂きました。

協会主催大会の成績は、日本ライフル射撃協会公式HPの大会情報にて掲載しておりますので、今後はそちらをご確認下さい。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 販売設置は日本全国へ

### ■ Meyton(マイトン)電子標的システム



#### Meyton電子標的の特徴：

- ・赤外線バリヤを通過した位置を測定
- ・センターは常に一定
- ・測定精度は1/100mm
- ・ワークステーションによる一元管理
- ・1台から利用可能
- ・10m, 50m競技用（25mは別製品）
- ・測定用消耗品は不要

#### Meyton(マイトン)電子標的導入射撃場（順不同）：

新潟県立胎内ライフル射撃場(10, 50m) 茨城県菅ライフル射撃場(10, 50m) 福井県立ライフル射撃場(10, 50m) 長野県中尾山射撃場(10, 50m)  
神奈川県立伊勢原ライフル射撃場(10, 50m) くりはま花の国エアライフル場(10m) 宮城県ライフル射撃場(10, 50m) 沖縄県ライフル射撃場  
(10m, 50m) 荒川区総合スポーツセンター(10m) 慶應義塾大学(50m) 中央大学(50m) 日本大学(10m, 50m) 明治大学(10m)  
その他高校・大学多数導入 ※大阪府能勢町ライフル射撃場(10m, 50m) メンテナンスのみ (國友銃砲火薬店様導入)

有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1326 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745

Meyton社製品 日本ディストリビューター / Noptel社製品 輸入総代理店

**NEW!!**



GINZA GUN LTD.

# Feinwerkbau Model.900Alu

## MESHPRO



メッシュ構造により  
通気性も確保!!

ファインベルクバウの新型エアライフル！  
モデル900はモデル800Xに比べ、約0.3kg軽量化!!  
オプションの「メッシュプロ」(上記写真)  
を選択すると、さらに軽量になります！！

**商品に関するお問い合わせは、お電話・メール、または弊社公式LINEまで！！**

### 株式会社銀座銃砲店

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目  
13番7号(新保ビル2階)

TEL:03(6226)6133 FAX:03(3543)1444

Mail:info@ginzagun.com



友達追加はこちら!!



公式SNSで  
お得な情報発信中!!

右記QRコードよりチェック!!



facebook



Instagram



TWITTER



ホームページより  
カタログをダウンロード  
できます。



# 来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン

KEEP EVERYTHING  
MORE BEAUTIFUL  
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



公益財団法人 日本オリンピック委員会  
Japanese Olympic Committee

10.9 FOCUSED.  
TARGETED.  
EXACTLY.

WALTHER

LG400  
MONOTEC



KK500  
PRECISION IN A NEW DIMENSION

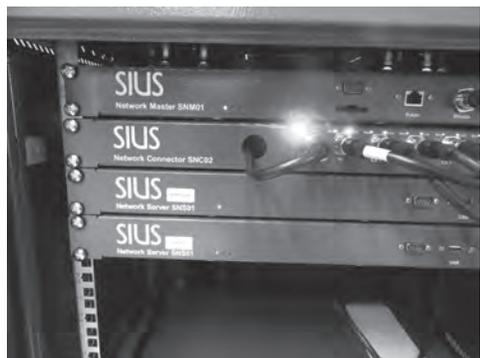
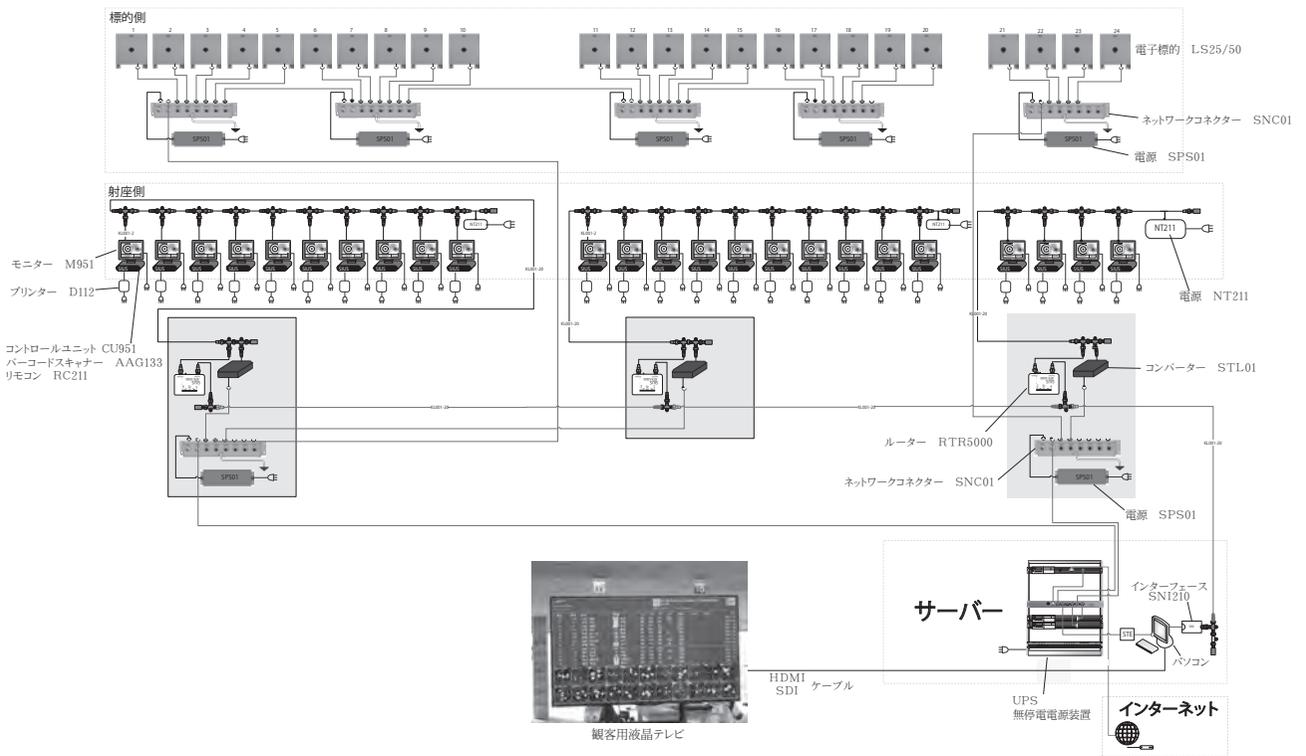
POWERED PERFORMANCE.



(公社)日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー  
株式会社 **國友銃砲火薬店**  
〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入る 國友ビル 3F

ワルサー社・エレー社 日本代理店  
TEL(075)351-3037 FAX (075)351-3041  
<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail:shooting@zj8.so-net.ne.jp

# STYX ネットワークシステム



ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)

光学式電子標的・超音波式電子標的

SIUS 社 日本総代理店

日本ビーム株式会社

www.japanbeam.com



# ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう!

## BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

### ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフル/ピストルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は 3.0 kg と軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バランスー付の競技者向けのモデルです。

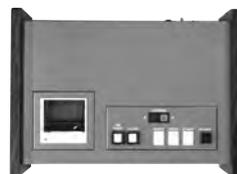
### ビームライフル・システム



ターゲット装置  
型式 MT-201



ディスプレイ装置  
型式 MD-201L



プリンター装置  
型式 MP-216

〔 製造・発売元 〕

—KOTO— 興東電子株式会社

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

<http://www.kohto.co.jp> E-mail: [info@kohto.co.jp](mailto:info@kohto.co.jp)

# 「ライフルスポーツ」が 変わります！

ご期待ください

次号より、大幅にリニューアル

\*年間4回の発刊・・・春号(5月)・夏号(8月)・秋号(11月)・冬号(1月)

\*冊子サイズがB5モノクロ⇒A4カラーで見やすい

\*外部の編集専門スタッフによる記事の掲載

ほか、編集会議の真っ最中です！

## ライフルスポーツ 購入申込方法

◆お申し込みは郵便振替または現金書留で下記の宛先までお願いします。

⇒郵便振替の場合

郵便振替 00140 - 0 - 707998 公益社団法人日本ライフル射撃協会

⇒現金書留の場合

〒160 - 0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4 - 2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 公益社団法人日本ライフル射撃協会ライスポ担当

◆価格(送料込み)

⇒一部300円、年間1,800円 学生・生徒一部200円、年間1,200円

◆会員への配布

⇒会員については、会費に含まれていますので、自動配布となります。ただし、大学生及び中高生会員への配布は、当協会の規程によります。

⇒会員のご登録住所にお届けしております。ライフルスポーツがお手元に届かない場合は、所属加盟団体へ登録住所のご確認をお願い致します。

●発行人 ———— 松丸 喜一郎

●編集 ———— 総務委員会

●発行所 ———— 公益社団法人日本ライフル射撃協会

(2019年7月より 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE  
新住所) 電話 03 - 6721 - 0792 / FAX 03 - 6721 - 0793

E-mail : rifle @ japan - sports.or.jp

http://www.riflesports.jp/

●印刷所 ———— 広研印刷株式会社

〒171 - 0033 東京都豊島区高田 3 - 3 - 16

電話 03 - 3208 - 8273 / FAX 03 - 3208 - 8244

本誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。



# #ともに 越えよう

休んでたわけじゃない  
不安や孤独と戦いながら 高めていたんだ  
闘志を 自分自身を

私たちの 想いは 情熱は  
湧き立ち みなぎり 駆り立てる  
前へ 前へ 前へ

できる やれるよ 私たちなら想いをひとつに  
その先へ行く力 「ダイバーシティーコンセプト」

さあ スポーツが待ってる

REACH BEYOND





ライフルスポーツ THE RIFLE SPORTS 2023.2

第459号

令和五年三月一日発行 隔月(奇数月)一日発行  
昭和五十三年二月二十五日第三種郵便物認可

発行人・松丸喜一郎  
発行所・公益社団法人日本ライフル射撃協会

東京都新宿区霞ヶ丘町4-1-2



24時間365日、守り続ける。  
いつでもすぐに駆けつける。  
「安全・安心」に、  
住まいと家族を見守る一番強い存在に、  
私達はなりたい。

それがALSOKの  
変わらぬ想いです。

## ホームセキュリティで幸せを



ALSOK レスリング部  
コーチ兼選手  
伊調 馨

サンキュー ツヨイ ミカタ

24時間365日受付

☎️ 0120-39-2413

定価 300 円